弘済寺かわら版

第48号
平成24年8月13日発行
弘済寺　玉野千枝編集
弘西寺131　0465(74)1717
弘済寺　検索

弘済寺 地蔵まつり

7月23日、地域の子どもたちの健やかな成長、参拝の皆様の家内安全・息災延命を祈る第15回地蔵まつりが開催されました。当日はやきそばやかき氷、ゲーム、フリーマーケット、足裏マッサージ等の出店、お念佛や太鼓などの奉納があり、境内は所狭しと参拝客で賑わいました。平日開催にもかかわらず役員の方々にお手伝いいただき、去年と変わりなく地蔵まつりが開催できたことに感謝いたします。

地蔵ナイト(夜)は、「うたかたり(庫裡客殿)」として、倉敷の高蔵寺住職・天野高雄氏とシンガーソングライターの小林啓子さん、ギターに山口玉三郎さんが来山してくださり、70人余りの方々が演奏とお話に聞き入りました。

このチャリティコンサートで七五、四〇三円のご寄付を頂きました。ありがとうございます。

地鎮祭

土壇を築き五色の幡を立て祈る住職

再建チャリティコンサート「うたかたり」として、倉敷の高蔵寺住職・天野高雄氏とシンガーソングライターの小林啓子さん、ギターに山口玉三郎さんが来山してくださり、70人余りの方々が演奏とお話に聞き入りました。

このチャリティコンサートで七五、四〇三円のご寄付を頂きました。ありがとうございます。

地蔵ナイト(夜)は、「うたかたり(庫裡客殿)」として、倉敷の高蔵寺住職・天野高雄氏とシンガーソングライターの小林啓子さん、ギターに山口玉三郎さんが来山してくださり、70人余りの方々が演奏とお話に聞き入りました。

このチャリティコンサートで七五、四〇三円のご寄付を頂きました。ありがとうございます。

これらの寄付金は檀徒の皆様から再建支援協力金二八六万円とあわせて、庫裡客殿の再建のために使わせていただきます。本当にありがとうございました。

7月28日には、以前より「お世話になっている田中太山先生が「チャリティ個展」を本堂にて開催してくださいました。手のひらサイズの小さな色紙に先生のかわいい画と言葉が書かれていて、来場してくださった方々は、数ある色紙の中から自分の気に入った色紙をじっくり選んでいかれました。このチャリティ個展でなんと三二、五〇〇円のご寄付をいただきました。

再建の第一歩である地鎮祭を行いました。地鎮祭とはどういうものなのか、神主さんにお祓いをしていただき、土地の神様に土地を使わせてもらう事の安全を祈願する儀式です。大地の「育む」の三つの作用がしっかりと働くよう祈願する儀式です。

その昔、役員守護神の位牌を用意するのに、役員の名前を書いてくださいとお願いしたところ、ほとんどの方が「自分の名前を書くのは縁起が悪い」とおっしゃられ、なかなか集まらなかったそうです。

高僧すえの住職は「最も尊い仏法の力を事あるごとに説き、仏縁と祈りの真髄を教えてくださいました。

8月5日(日)には、役員30人、役員に関係する人、そしてご縁のある人々の幸せを願い祈祷会を執り行います。

8月19日(日)には、仏教の教えを授けるお盆の行事が始まります。

9月16日(日)には、施餓鬼会(せがきえ)を執り行います。

10月28日(日)には、秋の彼岸会(ひがんえ)を執り行います。

寺カル

大人の寺子屋

- 8月19日
- 9月16日
- 10月28日

15時より1時間

- 場所：弘済寺 本堂
- 参加費：お賽銭として随意
- 持物：筆記具・数珠

ヨーガ教室

- 毎週水曜日10時～
  ※8月15日はお休み
- 場所：弘済寺本堂
- 参加費：1回1000円

おいしさに 心をこめて お届けの
みづほ野
0120-185-044

フラワーショップ よしだ
(73)8787

足柄ハリカ HARIKA
ご法事のお返し物は品揃え豊富なハリカにお任せください。
飯泉51-4 火曜定休(祝祭日は営業)
TEL0465(74)5221 FAX0465(72)0493

(有)勝又
仏壇・仏具のご相談は勝又へ
塚原2705 仏具部 73-0004

真言宗の本山

- 亀甲山 勧修寺
- 京都市山科区勧修寺
- 真言宗 山階派
- 本尊：千手観音
- 創建：900年（昌泰3年）
- 開基：醍醐天皇

18本山中8番目ぢス

「勧修寺」

京都府山科にある勧修寺（かじゅうじ）真言宗山階（やましな）派の大本山です。通称「かんじゅじ」「かしゅうじ」「かしゅうじ」とも呼ばれています。門跡寺院のひとつで、本尊さんは千手観音立像で、第60代醍醐天皇の等身大（約160cm位）といいます。庭は「勧修寺氷室園」と呼ばれ京都市の名勝となっています。平安時代に醍醐天皇の祖父の家を母の追善のために寺に改めたといいます。天皇の自作といわれています。平安時代、1月2日池に張った氷を宮中に献上し、張った氷の厚さにより、五穀豊穣を占ったそうです。また水戸光圀寄進とされる「勧修寺型灯篭」徳川家から贈られた「半月型手水鉢」など有名なおものがあります。とても静かなお寺です。残念ながら本堂内部は公開していないので庭園のみの散策となります。

「蓮が咲く氷室の池」

今なら睡蓮、蓮が見頃です。

弘法大師立像移動

弘法大師立像の遷座式（せんざしき）を7月23日地蔵尊法要に先立ち執り行いました。このお大師さんは昭和57年、檀徒の山崎さんの寄進により建立し今日まで参拝の皆様をお迎えいただいておりましたが、「よりお参りし易く」との願いから、本堂右より山門向かって右手に移っていただきました。お寺にご参拝の際には今まで同様、お大師さんにもお参りください。

弘済寺の花だより 蓮

「弘済寺の蓮」

6月に龍福寺さんより蓮をいただきました。台風で葉を落としましたが一度その後力強く葉を伸ばし、7月咲うな「蓮らくが姿ら仏日」巣の知食の通すとさ見葉に迷るため穴折ってあのが入れて茎からいしいらしいです。飲んでみましたが…う～ん…（ポンッ!!という音がしました。）なんとも言えない味でした。

花は咲き始めの1日目は「お皿型」3日目は「お椀型」です。散るとそこには蜂の巣のような形がついたといわれています。（観賞ご存のつるいをやのそう蓮根です。蓮根は縁起物のパイプのような形をしていて、そこから「はちのす」→「はす」→「はす」→「はす」と呼ばれています。また蓮の実は穴があいていて空気を通す役目をもっています。蓮根は穴があいていてちゃんと利用しないとお酒をお酒に入れるとお酒根が腐ってしまいます。蓮根は「節間に」と書いて「節間」と読み、節間に「節」と差し予防で象徴とされ縁起物の食べ物です。蓮根は水さえ良ければ比較的簡単に育てることができます。ぜひ家庭菜園で育ててみてはいかがでしょうか。

胸を張って帰ろう

弘済寺団参「京都三弘法まいり」

10月9日(火)～10日(水)の 申込締切は 8月31日です!! ご参加お待ちしております♡